



柳島小だより

令和3年10月29日
茅ヶ崎市立柳島小学校
校長 大野 洋

やなぎピック2021において



後期が始まりました。10月に入り緊急事態宣言が明けて、今まで行えなかった校外学習や行事を予定しています。10月末に予定していた「やなぎピック2021（運動会）」もその1つで、変更して11月24日から2学年ずつ3日間に分けて懇談会と合わせて5校時に行う予定です。練習も11月に入ってから本格的に始まります。感染症対策をとりながら安全に練習を行い、保護者の皆様にもその頑張りをご覧いただければと考えています。その際には、参加票や人数制限等のご協力をお願いします。詳しくは別途案内を配布いたしましたので、そちらをご覧ください。その他、5年生のキャンプ、6年生の校内宿泊、各学年のバス遠足も予定しています。緊急事態宣言は明けましたが、行事の最中に発熱などかぜの症状がでた場合は、感染拡大防止のため現地にお迎えのお願いをすることになります。行事前の2週間はご家族を含め十分に健康観察をしていただき、不安がある場合、無理な参加は控えていただきますようお願いいたします。

川でつながる学校どうしの交流②

7月号にて県の最北端の小学校「相模原市立藤野北小学校」との交流についてお知らせしましたが、今回はその第2弾。本校児童4年生が、10月19日にバスで移動して訪問しました。訪問と言っても藤野北小は、2年前の台風19号で土砂崩れに遭い、工事のため未だに校舎に入れずに近くの公民館を仮校舎にして学習しています。また、「ふじの体験の森やませみ」に隣接している体育館を使用していることもあり、今回はそちらにおじゃましました。子どもたちは、久しぶりの校外学習ということで、朝から元気いっぱいの挨拶をしていました。藤野北小の4年生は3名ですが、映像を使った水源や水質の発表はとても立派で、本校の子どもたちもたくさん刺激を受けました。感想や質問をたくさん行い、海岸で拾ったシーグラスをちりばめた手作り水族館などのプレゼントも渡しました。こちらも立派でした。

本校児童が踊るエイサーに楽器やかけ声を合わせてコラボレーションを楽しんだり、支流の沢井川に親しんだりとてもよい交流を行うことができました。



特別支援学級の設置

茅ヶ崎市では、小学校19校全てに特別支援学級の設置を計画しています。そして、本校もその11番目として令和4年度4月に開設を目指して準備を進めています。さまざまな特性に合わせて適切に対応していくインクルーシブな支援教育を推進していければと考えております。